



子どもの幸せを応援する

所長 熊木 徹

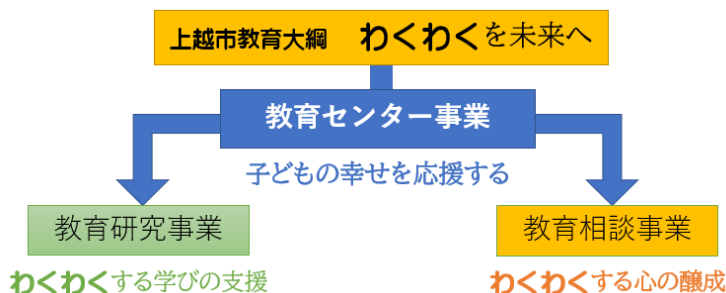
上越市教育大綱には、「わくわくを未来へ」とあります。心が動く、熱を持つ、そんなわくわくする学びには、心豊かな人生を支え、社会をよりよい方向へ変えていく力があります。わくわくする学びの風景が広がり、子どもたち、そして、多くの人々の学びが、よりよい社会の中で心豊かな人生を送る、そんな幸せな未来へとつながってほしいという願いが、そこには込められています。

教育センターでは、市教育大綱を受けて「子どもの幸せを応援する」を運営方針に掲げています。子どもとわくわくする学びを創り上げている先生方を支援すること、また、子どもの健やかな成長を妨げるリスクを減らし、子どものわくわくする心を醸成することを通して、「わくわくを未来へ」つなげる手助け、すなわち子どもの幸せを応援したいと考えたからです。

教育センターの主な事業は、上の図に示した(4ページの事業概略図も参照してください)「教育研究事業」と「教育相談事業」の二つです。このうち「教育研究事業」では、様々な研修を実施して先生方の力量を高めることで、多くの子どもたちにわくわくする学びが広がるよう支援していきます。先生方が子どものわくわくする学びを知り、実践できるよう、研修では話し合いの機会を積極的に設け、若手育成の「夢しごと元気塾」では経験豊富な講師陣と1対1でわくわくする学びを語り合い、わくわくする学びを創り上げる面白さを知ってもらいます。

「教育相談事業」では、相談活動などを通して、子どもや保護者、先生方の心の安定と自信の回復を図り、子どものわくわくする心を醸成します。学校訪問では子ども第一に考え、昼休み時間等の相談に加え、学級に入りづらさを感じている子どもを対象として訪問日の授業中にも心の解きほぐしや相談を実施します。また、保護者のためのリーフレットや通信制高校説明会なども、子どものわくわくする心の醸成につながるようバージョンアップしていきます。

教育センターでは、今年度も子どもを中心に据え、「子どもの幸せ」につながるかを常に考えながら研修や相談活動を進めて参ります。ぜひ、様々な場面でご活用、ご相談ください。



※「わくわく」は字体改変は教育センター



令和7年度 教育センター実施事業・メンバーの紹介

教育研究部



引場 陽子 榎谷 聡 萱森 孝宏 山田 哲也 磯貝 邦彦 村治 隆夫 長谷川 泰山 野池 康一 平井 恵理 板垣 希望 鴨井 淳一 竹下 由加里 水谷 桂介

教育資料部

◆◆◆まだ間に合うおすすめの研修！◆◆◆

〇8月25日(月)No.5

「ウェルビーイングな学校づくり研修」

(上尾市立上平小学校長：中島晴美先生)

昨年度大好評だったスクールマネジメント研修。今年は講義を聴くだけでなく参加者で話し合い、講師が講評する活動も行います。

〇8月1日(金)No.7

「子どもが主体的に学ぶ授業づくりと

教師が主体的に学ぶ校内研究づくり」

(慶応大学教授：鹿毛雅治先生)

参加者がパネルディスカッションしながら講師とともに学ぶアクティブな研修です。

※詳細・お申し込みは、各校教務主任にお尋ねください。

◆上越理科教育センターはあなたの理科授業をサポートします◆

新採用の方、久しぶりに理科を教える方、まわりに実験や観察方法について相談する人がいない方、初めて上越市に勤める方、幅広く理科の知識を身に付けたい方、そんなあなたに寄り添います。

◆授業づくりの方法を紹介します

◆研修では授業にすぐ使える教材を提供します

◆実験が成功するコツを紹介します

申込期間が過ぎても、ご連絡いただければ対応することができます。

先生方の困り感にいつでも相談にのります。

上越理セン 平日 8:30~18:00

☎ 025-545-9248 ☒ chuorc@jorne.or.jp

情報教育部



竹内 毅 藤田賢一郎 小山かおり 仁田 裕子 高島 菜央

科学研究部



稲葉 浩一・西島 雅弘・鬼木 哲人・伊倉 智子

◆学校DXを推進します◆

D X (「デジタルトランスフォーメーション」の略)は、デジタル技術を駆使して、生活の営みや社会全体に(一部の作業のみならず)変革を起こすことです。

学校DXは、デジタル技術の利活用で、子どもたちのよりよい学習を実現したり、教職員の校務の効率化を図ったりして、子どもたちも教職員もわくわくするような変革をねらいとしています。

情報教育部では、わくわくの高まりを願いながら、情報セキュリティの徹底と学校DX推進のための研修の充実に努めます。

また、各校の学校DX推進やICT機器の利活用及び保守、校内研修を支援します。

教育相談部

児童生徒の落ち着いた学校生活の実現や幸せの応援のため、事業を行っています。

◆ 学校訪問カウンセラーによる「学校訪問相談」

定期訪問(市内小学校) 要請訪問(市内小中学校)

◆ 電話による相談 ☎ 025-543-2199

「子どもほっとライン」(24時間)

◆ 面接による相談「来所相談」

中央教育相談所(平日 9:00~16:00)

南・北教育相談所(平日 9:15~12:00 13:00~15:30)

◆ 電子メール相談(平日 9:00~16:00 受信・返信)

☒ jecsoudan@jorne.or.jp

◆ 不登校児童生徒への支援活動

教育支援室子ども未来サポート CoCoMo 南・北の開設(平日 9:15~12:00 13:00~15:30)

◆ J A S T (じょうえつあんしんサポートチーム)

による学校支援

教育支援室

子ども未来サポート CoCoMo



CoCoMo 北 遠藤 和英 CoCoMo 南 目細 敏子 片山亜梨早 田中 敦

「子ども未来サポート CoCoMo」に名称を変えて3年目を迎えました。

不登校児童生徒への個別指導や体験活動などをおして、学校復帰をはじめとした社会的自立ができるよう支援します。南・北教室それぞれ2人の指導員体制で、学び直しを意識した学習支援、社会性の向上を視野に入れた活動支援を展開します。「CoCoMoは、家庭と学校以外のもう一つの新しい居場所!」である。このスタンスで、通室生一人一人の通室スタイルに合わせ、家庭・学校と連携を図り、個々のニーズに応えながら、子どもの未来に向けたサポートをしていきます。

J A S Tには、指導主事、臨床心理士、SSW、学校訪問カウンセラーが所属し、学校だけで解決が困難なケースに対し、学校が主体となって早期解決できるよう、チームで次のような事例の支援を行っています。

○ いじめや問題行動、不登校などで解決が困難な事例

○ 虐待が疑われる事例

○ 学校内外での非行などの問題がある事例

○ 発達に課題があり、学校生活・家庭生活に問題が生じている事例などに対し、学校と連携し、一人一人の子どもが抱える課題に沿った支援を進めます。学校で行うケース会議への参加、保護者との面談、児童生徒との教育相談などを行います。

全ての子どもの学びが保障され、健やかに成長していけるよう、取組を続けていきます。

学校訪問カウンセラー



松田 彩乃 富永 清文 岩島由起子 内海 志乃 西田 美樹 福田 功 乾 千賀子 宮澤 忠明 遠藤 俊幸 関間 久子

◆「カウンセリング研修」の開催

・夏期：7/30(水)・31(木)・8/1(金)

・冬期：12/25(木)・26(金)

教育相談、生徒指導や学級経営等に活用できる講座です。今、抱えている課題や悩みの解決策を模索している方、力量アップを目指す方…。是非ご参加ください。

J A S T ジャスト

じょうえつあんしんサポートチーム



宮澤 忠明 富永 清文 山田 哲也 小池 克行 板垣 希望 引場 陽子 梶原 紀子 丸山 邦晃 鈴木 真理子

教育センター事業

共通理念
子どもの幸せを応援する

教育研究事業

わくわくする学びの支援

子どもの資質・能力、
学びに向かう力の育成

学校力
教師力の
育成

学校づくり研修
授業づくり研修
特別支援教育研修
学級・生徒指導研修
職種課題別研修
情報教育研修
理科教育センター研修
(科学研究発表会)

職員
研修

若手
育成

夢しごと元気塾

カリキュラムセンター
教科書センター

教育相談事業

わくわくする心の醸成

子ども・親・教師の
心の安定と自信回復

学校
訪問
相談

学校訪問
カウンセラー

電話
相談

24時間対応
子ども
ほっとライン

来所
相談

中央教育相談所、
南教育相談所、
北教育相談所、
メール相談

不登校
支援

不登校児童生徒教
育支援室子ども未
来サポートCoMo
不登校への適切な対
応を啓発する取組

問題
解決
支援

IST(じょうえつあん
しんサポートチーム)

相談力
支援力
の養成

カウンセリング研修、
相談員研修、情報交換

ご活用ください!

来所相談

来所相談は、保護者、教職員の皆さんや子どもたちが、学校生活や家庭生活などで悩んでいること・困っていることについて相談所を訪れて相談するものです。

※事前に電話で予約をいただくと、スムーズに対応できます。

◇ 中央教育相談所（教育センター内）

☎025-545-9247

平日 9:00～16:00

◇ 南教育相談所（CoCoMo 南）

☎025-522-2428

平日 9:15～12:00

13:00～15:30

◇ 北教育相談所（CoCoMo 北）

☎025-545-0780

平日 9:15～12:00

13:00～15:30

子どもの心に近づく

「プラス思考で聴く」

学校訪問カウンセラー 遠藤 俊幸



子どもの相談に耳を傾けることは大切です。時に相槌を入れたり、受け止めの言葉を発したりしながら、心の奥底にある気持ちを聴くよう努めます。時に反論したくなったり、批判したくなったりしても、そうした気持ちを脇に置いて、子どもがそうならざるを得ない気持ちを押し量るよう努めます。

相談を受けると、よいアドバイスをしたい、解決策を示したいと思いがちです。でも、問題解決の主体は子どもであり、これから、どうしていききたいのか、どんな状態になることを望んでいるのか、一緒に考えることによって、生きる力が育まれます。

そして、何よりも子どものプラス面を見ることがです。悩みを抱えている子は、できないことばかり、辛いことばかりを考えて、苦しんでいます。相談できたこと、弱音を吐けたことは、決してマイナスではなく、プラスの行動です。心が壊れそうな時、自分を守る行動がとれたことを称賛し、できないことより、何ができるかを大切にしていきたいと考えています。